



2024年11月29日

各位

会社名 株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長グループ CEO 安井 豊明  
(コード番号:4433 東証プライム)  
問合せ先 執行役員 社長室長 兼 経営企画部長 飯島 幸一  
(TEL. 03-5924-6075)

## 上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2024年8月31日時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記の通り、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

当社の2024年8月31日におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっております。「流通株式時価総額」については、92億円と基準に適合していません。

当社は、「流通株式時価総額」に関し、2026年8月末までに上場維持基準を満たすために本計画書に記載する各種取組を進めてまいります。

#### 【基準日(2024年8月31日)時点での上場維持基準への適合状況】

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況	13,978人	99,912単位	92.0億円	55.8%
上場維持基準	800人以上	20,000単位以上	100億円以上	35%以上
適合状況	適合	適合	不適合	適合
計画期間	—	—	2026年8月末まで	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出をおこなったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題および取組内容

##### (1) 基本方針

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に向け、2024年11月5日に「中期経営計画2025-2029」を公表いたしました。

中期経営計画の基本方針として「事業ポートフォリオの再構築」と「財務戦略の明確化」を掲げており、各種施策を着実に実行することにより、持続的な成長と財務体質の強化を図ることで当社グループの企業価値向上に取り組んでまいります。

ご参考: 中期経営計画(2024年11月5日公表)

(URL: <http://www.hitocom-hd.com/ja/ir/library/survey.html>)

## (2) 課題および取組内容

当社は一定の株主数および流通株式数を確保しながら、「流通株式時価総額」の基準を満たしていません。従って、流通株式時価総額の向上には、企業価値向上に取り組むことで株式市場から評価され、株価を上昇させることが課題であると認識しております。

当社はこの課題に対して、以下の取り組みを推進してまいります。

### 【取組内容】

#### ① 業績の回復(事業戦略)

当社グループの2024年8月期の業績は、コロナ禍からの急激な経済回復に伴う人手不足、人件費高騰等の影響を受け、人材サービスによる営業支援を行う「販売系営業支援セクター」を中心に賃金上昇に対する顧客企業への価格転嫁が円滑に進まない等の厳しい事業環境が続いた結果、親会社株主に帰属する当期純損失43百万円を計上し、上場以来初めてとなる赤字決算となりました。

2025年8月期は、当社グループの業績を再び成長軌道に回帰するべく以下を重点施策として取り組んでまいります。

### 【重点施策】

- ・旺盛なインバウンド需要の取込(エアポートセクター、インバウンド・ツーリズムセクター)
- ・IPライセンスを活用した高付加価値商品の企画・開発の推進(ホールセールセクター)
- ・通信分野における売上減少の底打ちと粗利率の改善(販売系営業支援セクター)
- ・多岐に渡る大阪万博関連需要の取込(スポーツ・エンタメセクター)
- ・生産性を重視し効率的なコストコントロールの推進(全社共通施策)

2025年8月期の業績予想については、売上高590億円、営業利益20億円、経常利益20億円、親会社株主に帰属する当期純利益9億4,300万円を見込んでおります。

2024年8月期決算並びに2025年8月期計画の詳細につきましては、下記URLの決算説明資料をご参照ください。

ご参考:2024年8月期決算説明資料(2024年10月15日公表)

(URL : <http://www.hitocom-hd.com/ja/ir/library/presentation.html> )

2025年8月期の業績の回復を基盤として、中期経営計画最終年度となる2029年8月期に向けて、持続的な事業成長による企業価値向上に取り組んでまいります。

#### ② 財務戦略の明確化

当社グループは、従前より健全且つ効率的なバランスシートを意識した経営を進めておりますが、今後投資家との対話をより深めていくために「中期経営計画」において以下の内容を中心とした財務戦略の明確化を推進してまいります。

【財務指標目標値】(いずれも中期経営計画最終年度 2029 年8月期目標値)

- ・成長性指標 「EBITDA50.2 億円」
- ・資本収益性指標 「ROE10%以上」「ROIC10%以上」  
→「WACC」については、自社だけでなく投資家との対話による把握に努める。
- ・健全性指標 「Net D/E レシオ 1 倍以下」

【キャッシュ・アロケーション】(中期経営計画期間内:2025 年8月期から 2029 年8月期の累積)

手元資金を含めて中期経営計画期間内で約 170 億円を以下のとおり配分する方針

- ・M&A 投資: 100 億円
- ・株主還元: 30 億円以上
- ・運転資金および内部留保等 40 億円

【株主還元】(中期経営計画期間における方針)

株主還元は経営上の重要な課題として認識し、配当方針を以下のとおり明確化する

- ・累進配当(基本的に減配しない)
- ・配当性向 30%以上

事業戦略と財務戦略の連動性を高めることで、財務健全性を保ちながら効率性の高いバランスシートを目指してまいります。

### ③ IR 活動の強化

当社の現状認識として、資本収益性(ROE・ROIC 等)と市場評価(PBR・PER 等)が連動していない点が課題と考えております。これは中長期における成長戦略について、投資家に分かりやすく情報発信出来ていないことにより、投資家から成長性が分かりにくい若しくは成長性に乏しいという評価に繋がり、結果として株価の低迷を招いているものと考えております。係る状況を踏まえて、下記の取り組みを中心に IR 活動を強化してまいります。

#### 【重点施策】

- ・中期経営計画の進捗状況に関する情報発信(決算説明資料・決算説明会)
- ・IR サイト並びに開示資料の充実
- ・決算説明会等のライブ配信の継続並びに内容の充実
- ・個人投資家との接点強化(各種イベントへの参画等)
- ・決算開示以外の情報発信強化(事業進捗に関するプレスリリース発出等)

上記の重点施策を着実に実行し、投資家との対話内容を経営陣・取締役会に共有することで投資家からの評価・フィードバックを IR 活動の改善に繋げてまいります。

2024 年8月末時点の流通株式数を基準とした場合、上場維持基準への適合する株価水準は、「1,001 円」となります。本計画書記載の取組を着実に実行することで企業価値を向上させ、上場維持基準適合を目指してまいります。

以上